

申請者	看護課	水上 礼子
No.50	医療観察法病棟における重複障害対象者に対する看護師の認識	
研究の概要	<p>研究の目的 医療観察法病棟における、看護師の精神健康度を維持するために、薬物使用障害を持つ重複障害対象者に対する看護師の態度・援助の実態を把握し、的確な看護を実践するために重複障害対象者に関する知識の必要性を明らかにすることが本研究の目的である。</p> <p>(研究機関)倫理委員会承認後～平成24年3月31日 (調査法)施設長または看護部長が応諾した全国の医療観察法病棟に調査用紙を配布する。対象者が特定されないようにした上で、各自が自由意志で記入し、返信用封筒を用いて切手を貼らずに郵送してもらう。調査用紙の返信を持って同意とみなす。</p> <p>(データ分析)調査用紙から得られたデータの分析には、SPSS-17.0Jを用いて統計処理を行う。個人背景に関してはクロス集計する。また、それぞれの尺度を下位尺度ごとに合計し、重複障害対象者の受け持ちの有無により2群に分類し検定をし、個人背景・DDPPQ・GHQ28項目・職業的アイデンティティ尺度・職場用コーピング尺度との関連を見る。さらに経験年数(看護師・精神科看護師・医療観察法病棟看護師)の違いにより分類し、一元配置分散分析を行う。</p>	
判定	承認	

審議課題一覧に戻る